慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	編集後記
Sub Title	
Author	法学研究編集委員会(ホウガク ケンキュウ ヘンシュウ イインカイ)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1980
Jtitle	法學研究 : 法律・ 政治・ 社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.53, No.3 (1980. 3) ,p.178- 178
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19800315-0178

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

昨年一一月一七日、慶應義塾大学名誉教授米山桂三先生が御他界された。

先生は、昭和四〇年代前半の大学紛争の嵐の中で、法学部長として学部の研究・教育体制を維持し、革新することに奮闘された。あの当時、われわれ大学人にはそれぞれの思いがありえたが、先生の発想の純粋さ、意思の強固さが紛争に対処するにあたっての学部の精神的支柱であったということは、われわれが今共通に追憶するところである。

先生は、その風丰においても、その精神においても、最期まで常に若々しかった。特に、研究者としては、つぎつぎと新らしい問題意識をもたれ、それらの問題と対決するためのユニークな方法論を提示された。われわれ後輩がともすれば自分の学問に慣れすぎようとするとき、先生の問題意識と方法論とは、後輩を叱咤し、覚醒させるものであった。本誌「法学研究」が学問的水準を保持しつづけているものと自負しうるのも、直接または間接に、先生に負うところが大きい。

先生のとつぜんの訃報に接したことは、当委員会にとつても大きなかなしみである。われわれは、先生に対する追慕の念をあきらかにするために、本号において、先生の学問上の後継者である生田正輝・十時厳周・川合隆男各教授による追悼文を掲載することにした。御執筆をいただいた各教授に謝意を表すると同時に、当委員会としてあらためて故米山桂三先生の御冥福をお祈りする。

なお、本号掲載の米山先生主要著作目録は、沢山の先生の御著書・論文の中から、当委員会の責任において取捨したものである。

昭和五十五年二月

法学研究編集委員会